

## 平成 21・22 年度 第 1 回 複合構造委員会 幹事会 議事録(案)

1. 日 時：平成 21 年 5 月 7 日(木) 14:00～18:30
2. 場 所：土木学会 会議室 C
3. 出席者：横田委員長，杉浦副委員長，古市幹事長，斉藤幹事，武知幹事，田中幹事，西崎幹事，本間幹事，溝江幹事，渡辺幹事，大山(欠席者：池田幹事，大垣幹事，島幹事，山口幹事)(敬称略，計 11 名)

### 4. 配布資料

- 資料 幹1-0 平成21, 22年度 第1回 複合構造委員会 幹事会 次第
- 資料 幹1-1 平成19, 20年度 第12回 複合構造委員会 幹事会議事録(案)
- 資料 幹1-2-1 平成21, 22年度 幹事会 委員構成
- 資料 幹1-2-2 複合構造委員会 組織図
- 資料 幹1-2-3 平成21, 22年度 幹事会業務分担(案)
- 資料 幹1-2-4 幹事会スケジュール(案)
- 資料 幹1-3 平成21, 22年度 複合構造委員会 メンバー構成(案)
- 資料 幹1-4-1 平成21年度 複合構造委員会 予算案
- 資料 幹1-4-2 平成20年度 複合構造委員会 予算執行状況
- 資料 幹1-5 「第8回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」の講演集原稿募集
- 資料 幹1-6-1 平成21年度 全国大会開催に伴う研究討論会について
- 資料 幹1-6-2 共通セッションプログラム関係
- 資料 幹1-7-1 JSCE 2010の実施状況に関する部門ごとの自己評価 (2008年度)
- 資料 幹1-7-2 平成20年度 「重点研究課題」調査研究報告書
- 資料 幹1-8-1 出版関係報告
- 資料 幹1-8-2 複合構造レポート03 販促対応について
- 資料 幹1-8-3 図書の廃棄について
- 資料 幹1-9-0 小委員一覧表
- 資料 幹1-9-1 複合構造標準示方書
- 資料 幹1-9-2 維持管理小委員会
- 資料 幹1-9-3 FRP複合橋梁小委員会
- 資料 幹1-9-4 FRPによる鋼および複合構造の補修・補強小委員会
- 資料 幹1-9-5 複合構造ずれ止めの統一的設計手法の調査研究小委員会
- 資料 幹1-9-6 樹脂材料による複合技術研究小委員会
- 資料 幹1-9-7 「鋼・コンクリート複合構造の理論と設計」改訂小委員会
- 資料 幹1-10 平成21, 22年度 第1回 複合構造委員会 次第(案)
- 資料 幹1-11 第6回 日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について

## 5. 議事次第

### (1) 委員長挨拶

横田委員長より、平成 21, 22 年度(第 3 期)の複合構造委員会 委員長としての抱負などが述べられた。その後、各幹事より、自己紹介を兼ねた挨拶がなされた。

### (2) 第 12 回(平成 19, 20 年度) 幹事会議事録(案)の確認 (資料 幹 1-1)

溝江幹事より、2009 年 2 月 27 日(木)に開催された平成 19, 20 年度 第 12 回 複合構造委員会 幹事会議事録(案)の確認がなされ、承認された。

### (3) 平成 21, 22 年度 複合構造委員会・幹事会体制(分担と進め方)(資料 幹 1-2)

まず、古市幹事長より、平成 21, 22 年度 複合構造委員会幹事会の業務分担および組織図について説明がなされた。説明の後、組織図の他委員会・学協会から、①すでに、活動が終了している可能性がある(担当の大山幹事ではなく、大垣幹事に要確認)、②小委員会である、③ISO 対応特別委員会には、横田委員長も委員であり、適宜、情報提供ができるなどを理由に、『EC(ユーロコード)調査小委員会』を削除することになった。

つぎに、平成 21 年度の親委員会および幹事会の開催日について日程調整を行い、以下の表に示すとおりとなった(第 5 回幹事会のみ、開催日は未定)。

平成 21 年度 親委員会および幹事会 開催日

	親委員会	幹事会
第 1 回	2009 年 6 月 24 日(水) <東京>	2009 年 5 月 7 日(木) <東京>
第 2 回	2010 年 1 月 27 日(水) <東京>	2009 年 7 月 22 日(水) <東京>
第 3 回	—	2009 年 9 月 3 日(木) <福岡>
第 4 回		2009 年 12 月 18 日(金) <東京>
第 5 回		2010 年 2 月 19 or 26 日(金)もしくは3月開催 <地方>

開催時間は、親委員会、幹事会とも、基本的に 14:00～17:00 とする。なお、第 3 回幹事会は、当日、平成 21 年度 土木学会全国大会／研究討論会が 13:00～15:00 まで行われる予定であるため、16 時以降に開催する(開催場所は、古市幹事、武知幹事が、勤務先支店の会議室が利用可能かどうか調べることになった)。

### (4) 平成 21, 22 年度 複合構造委員会・親委員会の構成について (資料 幹 1-3)

古市幹事長より、平成 21, 22 年度 複合構造委員会・親委員会の委員構成について説明がなされた。説明の後、平成 19, 20 年度の親委員会への出席回数が、0 もしくは 1 回の方に、今回も委員をお願いするか、議論が交わされた。その結果、該当委員に、委員を継続されるのか、新委員を選出して頂くのかを問い合わせることになった。

### (5) 平成 21, 22 年度 複合構造委員会 予算(案)(資料 幹 1-4)

まず、渡辺前幹事長より、平成 20 年度 複合構造委員会 予算執行状況について、報告がなされた。

つぎに、古市幹事長より、平成 21 年度 複合構造委員会 予算(案)<予算額：975,000 円>について説明がなされた。併せて、今年度の重点研究課題(研究助成金)には、採択されなかった旨の報告がなされた。

説明の後、意見交換が行われ、主な内容は、以下のとおりである。

- ① 「すでに、活動期間が終了している小委員会に予算を割り当てるのは？」との意見が出され、講習会までの準備費などが必要となるが、その費用は、予備費から捻出することになった。したがって、すでに、活動期間が終了している小委員会には、予算を割り当てないことになった。
- ② 北海道大学の上田教授より、2009年10月に、FRPに関するワークショップを複合構造委員会と共催で開催したい旨の依頼があった。そこで、そのワークショップに必要な費用が発生した場合、国際連携小委員会の予算から執行することになった。

(6) 第8回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウムについて (資料 幹 1-5)

古市幹事長より、『第8回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム』の講演集原稿募集について説明がなされ、投稿論文数を増やすために、各幹事は、広報活動を行って頂きたい旨の依頼がなされた。

(7) 平成21年度 土木学会全国大会／研究討論会および第64回 年次学術講演会について

(資料 幹 1-6)

まず、溝江、西崎両幹事より、研究討論会(タイトル:『複合構造化による土木構造物の延命化』)の内容、話題提供者などについて説明がなされた。説明の後、研究討論会用冊子(資料)は、“CD-ROM 概要集掲載資料”ではなく、“大会当日会場配布用資料(2009年8月10日:学会必着)”とすることになった。なお、当資料は、研究討論会終了後、複合構造委員会のホームページからダウンロードできるようにするため、その旨を視野に入れた資料作成を行って頂きたいと横田委員長からお願いがなされた。

つぎに、古市幹事長より、第64回 年次学術講演会／共通セッション2(CS2):複合構造物に投稿された論文投稿数、プログラム編成ならびに座長(案)について説明がなされた。ここで、昨年度の投稿数が56編であったのに対し、今年度が35編に減少したことについて議論が交わされた。その結果、以下の意見などが出され、来年度に向けて、今後、検討することになった。

- ① 当複合構造委員会は、I分野(構造)に属している。したがって、複合構造に関する論文の投稿は、第I部門で受け付ける(第V部門には、[複合構造]を記載しない)。
- ② 鋼の立場から複合を研究されている方、コンクリートの立場から複合を研究されている方がおられるので、論文の投稿は、共通セッションで受け付ける(第Iおよび第V部門には、[複合構造]を記載しない)。

(8) 委員会連絡事項 (資料 幹 1-7)

まず、古市幹事長より、『JSCE2010の実施状況に関する部門ごとの自己評価(2008年度)』について説明がなされた。つぎに、渡辺幹事より、平成20年度「重点研究課題」調査研究報告書について説明がなされた。なお、報告書に一部間違いがある(研究助成額:900千円→600千円)、上田教授からの修正依頼があったため、後日、メールにて、再送することになった。

(9) 出版関係 (資料 幹 1-8)

武知幹事より、出版関連について報告がなされた。主な報告内容は、以下のとおりである。

- ① 平成 21 年度の出版計画は、現時点で、『複合構造標準示方書』と複合構造レポート 04 『FRP を用いた鋼部材の補修・補強の設計・施工<仮称>』の 2 冊である。
- ② 複合構造レポート 02 『Guidelines for Performance Verification of Steel-Concrete Hybrid Structures 英文版 複合構造物の性能照査指針(案)』は、出版事業の内規より、在庫を廃棄処分し絶版とすることになった。
- ③ 複合構造レポート 03 『各種材料の特性と新しい複合構造の性能評価－マーケティング手法を用いた工法分析－』は、平成 19, 20 年度の新刊で、出版後半年間の販売部数が半分未満でかつ赤字収支となる図書であるため、販売促進策を検討するよう出版事業課から依頼がなされた。そこで、以下の促進策を回答することにした。
  - a) 本書の有効性をウェブ上にアップして PR する。
  - b) 8 月上旬に本書を用いた講習会(マーケティング手法を用いた事業開発の基本に関する講習会)を行う。
  - c) シンポジウムの会場にて図書販売を行う。

なお、③の促進策 b) に関して、意見交換を行い、8 月 6 日(木)13:30～、土木学会／講堂にて、講習会を開催することになった。

#### (10) 小委員会報告審議事項 (資料 幹 1-9)

##### ① 複合構造標準示方書小委員会

田中幹事より、『複合構造標準示方書』の出版までの流れ、意見照会の依頼先などについて説明がなされた。説明の後、意見交換が行われ、主な内容、決定事項などは、以下のとおりである。

- a) 「工程が、かなり厳しいのでは?」、「示方書であるため、慎重に作業を行って頂きたい」との意見が出され、若干、工程を見直すことになった。
- b) 講習会は、2009 年 12 月 17 日(木)に、土木学会／講堂にて開催する。
- c) “複合構造標準示方書(案)に関する意見照会(お願い)”に複合構造委員会の横田委員長名を載せる。
- d) 意見照会を依頼する際は、『複合構造標準示方書』の文書ファイルをメールで送信するのではなく、印刷物を照会先の適切な部署に郵送する。
- e) 「社団法人 プレストレストコンクリート技術協会にも意見照会を依頼すべきではないか」などの意見が出され、再度、照会先について吟味することになった。

##### ② 維持管理小委員会

杉浦副委員長より、活動状況について説明がなされた。2009 年 5 月の最終小委員会において、報告書の確認、出版ならびに講習会のスケジュールなどについて確認を行う。なお、報告書の原案が回覧され、斉藤、西崎、武知幹事が査読を行うことになった。

##### ③ FRP 複合橋梁小委員会

西崎幹事より、活動状況について説明がなされた。『第 3 回 FRP 複合構造・橋梁シンポジウム』(2009 年 7 月 23 日(木)開催)には、30 編の論文投稿があり、会場は、講堂のみで行うことになった。なお、シンポジウム当日に配布する報告書は、販売しない旨が確認された。

④ FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会

西崎幹事より、設立趣意書(案)および準備状況について説明がなされた。委員長は、九州大学の日野教授にお願いしたが、学内業務多忙のため、東海大学の中村教授にお願いし、承諾を頂いた。説明の後、議論が交わされ、次回委員会で承認を得ることとなり、引き続き、委員会設立に向けて準備を進めることとなった。

⑤ 『鋼・コンクリート複合構造の理論と設計』改訂小委員会

大山幹事より、『鋼・コンクリート複合構造の理論と設計』改訂小委員会の目次(案)、委員長、副委員長候補について、説明がなされた。説明の後、意見交換が行われ、委員長は、高知工科大学の島教授にお願いすることになった。なお、本書は、示方書ではないため、外部査読を行う必要はない旨の指摘がなされた。

⑥ 複合構造ずれ止めの統一的設計手法の調査研究小委員会

渡辺幹事より、設立趣意書(案)および準備状況について説明があった。説明の後、議論が交わされ、次回委員会で承認を得ることとなり、引き続き委員会設立に向けて準備を進めることとなった。また、小委員会名について、『複合構造ずれ止めの性能評価の調査研究小委員会』としてはどうかとの意見が出された。

⑦ 樹脂材料による複合技術研究小委員会

古市幹事長より、設立趣意書(案)ならびに準備状況について説明があった。説明の後、議論が交わされ、次回委員会で承認を得ることとなり、引き続き委員会設立に向けて準備を進めることとなった。

(11) 第1回 複合構造委員会について (資料 幹 1-10)

古市幹事長より、第1回 複合構造委員会(6月24日開催予定)の議事次第について説明があった。議論の結果、決定した事項は以下のとおりである。

- ・ 議事は審議事項と報告事項に区分する。
- ・ 審議事項は、①前回委員会議事録案、②委員会予算、③複合構造標準示方書、④新設小委員会とする。
- ・ 特別講演は行わない。
- ・ 懇親会を委員会終了後に開催する。

(12) 連絡事項 (資料 幹 1-11)

古市幹事長より、日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について連絡があった。

(記録・文責：大山 理，溝江慶久)